



バイオバンクの提供する多様なヒト試料・情報の利用に関心のある研究者・開発担当者、より効果的に利用したいと考えている研究者に向けたフォーラムです。

第2回目は、バイオバンクのヒト細胞試料を利用した具体的な研究事例や、研究ニーズに応じた支援の情報を共有し、バイオバンクの試料・情報の利活用促進をめざします。

第2回 AMEDゲノム研究プラットフォーム利活用システム

参加費無料

バイオバンク・ネットワーク イノベーションディスカバリー フォーラム

2025

2/26 水 15:30-17:30

会場

湘南ヘルスイノベーションパーク
Amphitheater

本フォーラムでは、ヒト細胞試料や関連情報を活用した研究事例の共有と、それに基づくオープンなディスカッションの場を提供します。

また後日、利用希望研究者と、個々の研究ニーズに合ったバイオバンク試料の利活用へ向けて個別相談の場を設けます。

特に民間企業の研究者にとっては、まだ馴染みの薄いヒト試料を使用した研究開発計画の立案、倫理審査の通過、研究に必要な試料や情報の迅速な入手プロセスなどの支援に対する理解を深め、バイオバンクのヒト試料の利活用を促進することを目指しています。

第1部 15:30 ~ 16:50

情報リッチなバイオバンク細胞資源を用いた研究戦略

■ 司会 長神 風二 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授)

オンライン
定員 500名

オンサイト
定員 70名

15:30 ~ 15:35

本フォーラムの趣旨紹介

■ 野口 憲一 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 特任教授)

15:35 ~ 16:05

iPS細胞を用いた疾患関連リスク SNP の作用機序解明

■ 齋藤 潤 (京都大学 iPS細胞研究所 教授)

16:05 ~ 16:25

オンデマンド型バイオバンクを活用した臨床研究の推進

■ 西原 広史 (慶應義塾大学 医学部がんゲノム医療センター 教授)

16:25 ~ 16:40

質疑応答

16:40 ~ 16:45

アイディーフォー 活動紹介

■ 小林 政博 (三菱商事株式会社 ヘルスケア本部)

16:45 ~ 16:50

AMED ゲノム研究プラットフォーム利活用システムの紹介

■ 荻島 創一 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 教授)

第2部 17:00 ~ 17:30

個々の研究ニーズにあわせた利活用相談

情報交換会

名刺交換などを通じてのオープンな場での意見交換。

当日、第二部に参加できなかった方やオンラインで参加された方については要望に応じWebベースでの面談を実施。

オンサイト

申込方法

右記よりお申込みください
※定員になり次第締め切ります

<https://www.ibtool.biz/250226-2ndbiobank-forum/>



主催・お問合せ先



主催 AMED ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム ゲノム研究プラットフォーム利活用システム(代表機関 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

お問合せ先 バイオバンク・ネットワーク イノベーションディスカバリー フォーラム事務局 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 バイオバンク利活用・産学連携推進センター内) discoveryforum@biobank-network.jp

共催 一般社団法人アイディーフォー



協賛 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)